

2年英語科 G アップシート

NO.77 (総合力を高めよう)

「350語程度の英語の文章」を読み取り

自分の考えを「まとまりのある文章」で表現しよう

【長文読解&自由表現問題⑦】

Class No. Name [Points / 30][Date]

【1】次の英文は、マザー・テレサ(Mother Teresa)の生涯について書かれたものです。

これを読んで、あとの問いに答えましょう。〔長文を読み取り、まとまりのある文章を書こう〕

【約 380 語使用/黙読の目標 Time - 6分】

Agnes was born in Macedonia in 1910. When she was very young, she wanted to give her life to God. She went to Calcutta, India and became a nun when she was 19 years old. She changed her name to Sister Teresa.

She was a teacher at a high school. She was liked by all her students because she was good at teaching. When she taught girls at high school, she always saw poor people on the street. They didn't have any food and drink. She couldn't forget about them.

When she was 38 years old, she decided to help the poorest of the poor. So, she moved to the slums alone. She began to teach children in the slums. There were no desks, chairs and boards. She wrote letters and numbers on the ground. She also took care of hungry and sick people there. She went from door to door to get food for them. She always walked all day and got very tired every night.

One day, one of her old students came to Calcutta to help with her work. She told the student, "This work is not easy. You must live for others."

Her student smiled and said, "Yes, I know". Later, many other students joined Teresa.

Sister Teresa opened a house for the dying in 1952 and, after that she started another house for children without families. She loved everyone like a mother and so she was called Mother Teresa.

One day, Mother Teresa found a dying man on the street. No one could go near him because he was very sick. She and her friends took care of him. The man asked, "Why are you helping me?" She just answered, "Because I love you."

Then she held the man and touched his hands warmly.

In 1979, she received the Nobel Peace Prize. She said, "Smile at each other. Help each other. Then, more and more love will grow."

On September 5, 1997, Mother Teresa died at the age of 87. But today, about 4,700 sisters in 132 countries are working to help the poorest of the poor. Her work of love goes on. She once said, ① "we cannot do great things. But we can do small things with great love."

Agnes : アグネス(テレサの本名) was born : 生まれた Macedonia : マケドニア

Calcutta : インドのカルカッタ nun : 修道女 the poorest of the poor : 「貧しい人の中

の最も貧しい人々」 slums : スラム街 boards : 黒板 ground : 地面

a house for the dying : 死を待つ人の家 (家族もなく、道端で死んでいく人々を招き、温かい食事を与え、必要な治療を施すための家) warmly : 心から、温かく

the Nobel Peace Prize : ノーベル平和賞 more and more : さらに、ますます

(1) 英文を読み、マザー・テレサの生涯を表す次の年表の空欄に、適する日本語を書きましょう。
 [大切なポイントを読み取ろう(Scanning)] 【各3点】

年 代	出 来 事 や 実 績
1910年	マケドニアに生まれる。
1929年	19歳で(①)になる。高校で地理も教える。
1948年	貧しい人々を救う決意をし、単身で(②)に向かう。
1952年	(③)を設立。
1979年	ノーベル平和賞受賞。
1997年	(④)歳で、神に捧げた生涯を閉じる。



(2) 次の英文の中から、本文の内容に合うものを1つ選び、記号で書きましょう。
 [英文の内容を正しく読み取ろう] 【4点】

- ア When Mother Teresa was 42 years old, she wanted to give her life to God.
- イ Mother Teresa took care of many sick people in the hospital in Macedonia.
- ウ Mother Teresa got the Nobel Peace Prize when she was 69 years old in 1997.
- エ There are about 4,700 sisters in the world and they are helping the poorest people.

[]

(3) 次のマザー・テレサの言葉の意味として適切だと思われるものを、それぞれア～エの中から記号を選び、その記号を書きましょう。
 [意向を適切に読み取ろう] 【各3点】

- ① Love is action. []
- ② There is more hunger for love and appreciation in this world than for bread. []
- ③ If you cannot feed a hundred people, then just feed one. []
- ④ Love begins by taking care of the closest people to you – the people at home. []

- ア この世界ではパンへの餓えよりも、愛や他人から感謝されることへの餓えの方が大きい。
 イ 100人には食べ物を与えられないなら、1人に与えればいいのです。
 ウ 愛とは言葉ではなく、行動で示すものです。
 エ 愛は最も身近な人、つまり家族を大切にすることから生まれるのです。

(4) 下線部 ① “we cannot do great things. But we can do small things with great love.”
 この言葉にマザーはどのような想いを込めたと思いますか。本文の中から具体的な内容を1つ取り上げ、あなたの考えを日本語で書きましょう。 [読み取った内容について考えを述べよう]
 【4点】

[No.77 (総合力を高めよう) 長文読解&自由表現問題⑦]

[1] (1) ① 修道女 ② スラム街 ③ 「死を待つ人の家」 ④ 87 歳

〔マザー・テレサについて書かれた本文の要約〕

アグネスは 1910 年、マケドニアに生まれた。若い頃、生涯を神に捧げようと思った。19 歳でインドのカルカッタに向かい、修道女となった。名前をシスター・テレサとした。高校の教師をした。教え方が上手く、多くの生徒に慕われた。高校で生徒たちに教えている時、いつも路上の貧しい人々を目にした。彼らは食べ物も飲み物もなかった。テレサは彼らのことを忘れることが出来なかった。

テレサが 38 歳のとき、貧しい人の中の最も貧しい人を救おうと決心した。そこで単身スラム街へと向かった。テレサはスラム街で子供たちに教え始めた。机も、イスも黒板もなかった。彼女は字面に文字や数字を書いた。そこで空腹の人や病気の人の世話もした。彼らのための食料を獲るため、家から家へと訪ねた。彼女は一日中歩き、毎晩疲れ果てた。ある日かつての教え子の一人がテレサの仕事を手伝うためにカルカッタにやってきた。テレサは彼女に「この仕事は簡単ではないですよ。他の人のために生きなければならないのですよ」と語った。教え子は微笑んで「わかっています」と答えた。後日、多くの生徒たちがテレサの活動に加わった。

テレサは 1952 年、「死を待つ人の家」を、後に「孤児たちの家」も開設した。テレサはみんなを母のように愛し、彼女はマザー・テレサと呼ばれた。

ある日、マザー・テレサは路上で死にかけている一人の男性を見つけた。重病で、誰も彼に近づけなかった。マザー・テレサと友人たちは彼のお世話をした。男性は質問した。「なぜ、私を救ってくれるのか」。マザー・テレサは答えた。「あなたを愛しているからよ」。彼女は彼を抱きしめ、温かく彼の手に触れた。

1979 年、マザー・テレサはノーベル平和賞を受賞した。「お互いに微笑みなさい。助け合いなさい。すると、もっと愛は大きくなっていきます」。

1997 年、9 月 5 日、マザー・テレサは 87 歳で亡くなった。しかし、今日、132 の国で 4700 人もものシスターが「貧しい中の最も貧しい人々」を救うために活動している。テレサの愛の仕事は継続している。彼女はかつて言った。「私たちは大きなことは出来ない。でも、大きな愛を込めて小さな仕事をする事なら出来る」。

(2) エ 「今現在、4700 人のシスターが世界中で最も貧しい人々を助けている」

(3) ① ウ

② ア (appreciation : 感謝)

③ イ (feed : 食事を与える)

④ エ (the closest people : 最も身近にいる人)



意味のわからない語も、前後から類推することが大切です。

(4)(解答例)

「道端で死にゆく男性を抱きしめ、愛していますよと声をかけたことは、社会を変えるような大きなことではない。でも、そのような小さな行為に温かな愛情を込めることは、やろうと思えば誰にでも出来ることですよと、教えてくれていると思います。」

